

2022年6月30日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱倉庫株式会社で「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{ほんざわ じゅんいち}、以下「当行」）は、三菱倉庫株式会社（取締役社長 藤倉 正夫^{ふじくら まさお}、以下「同社」）との間で、グリーンビルディングの共有持分取得を資金用途とした「グリーンローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

同社グループは、ESG 経営/SDGs への取組みを重要な経営課題の一つと位置付け、2021年4月30日に公表した「ESG 経営/SDGs 対応に向けた取組みについて」をもとに、物流、不動産という社会基盤を担う事業を通じて、SDGsの精神である持続可能な社会づくりに貢献する取組みを進めています。本年3月25日に公表した「経営計画[2022-2024]」にもとづき、環境に配慮した取組み、先端技術の導入等をさらに推進し、今後もより質の高い取組みを進めていきます。

尚、本資金用途における設備資金は、株式会社格付投資情報センターより、第三者評価を取得しており、「グリーンローン原則」および「環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガードライン」の「グリーンローンに期待される事項」に適合していることを確認しております。

<本ローンの概要>

実行日	2022年6月30日
アレンジャー	株式会社三菱UFJ銀行
コ・アレンジャー	農中信託銀行株式会社
組成金額	80億円
資金用途	グリーンビルディングの共有持分取得資金 (2021年4月1日に取得した際に要した資金のリファイナンス)
対象物件	グランフロント大阪（大阪府大阪市北区大深町3、4）
貸出人（五十音順）	愛知県信用農業協同組合連合会、株式会社池田泉州銀行、神奈川県信用農業協同組合連合会、埼玉県信用農業協同組合連合会、株式会社静岡銀行、株式会社常陽銀行、株式会社千葉銀行、東京都信用農業協同組合連合会、農林中央金庫、株式会社八十二銀行、株式会社百五銀行、株式会社百十四銀行、兵庫県信用農業協同組合連合会、福岡県信用農業協同組合連合会、株式会社三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上